

# 茨城県つくばみらい市立豊小学校（学校長 小林 正美）

実施日	平成19年12月18日（火）	時間	午前10時～午後1時30分
実施場所	体育館	対象/人数	1～6年生 121名
担当教諭	細谷 善彦	ファシリテーター	庄司 京子
講師	オレリアン バロン（フランス 県国際交流員） シェダ・ナウシン・パルニーニ（バングラデシュ・留学生）		

## 活動内容

台湾の踊りを鑑賞  
グループに分かれて国の紹介・踊りを一緒に踊る・ニカラグアの遊びを体験・民族衣装試着体験

## 児童の感想

- ・わたしが楽しかったことは、民族衣装を着たことです。最初に衣装を見たときはびっくりしたけど、着てみたら意外にぴったりでとてもよかったです。他にもサリーなどの服があることが分かりました。機会があればまた着たいです。
- ・初めてバングラデシュとフランスのことを学習しました。英語以外の言葉で話を聞いたのも初めてでした。いろいろな国の言葉や文化について、もっと学びたくなりました。
- ・バロンさんは、楽しいゲームを私たちに教えてくれました。「ダルマさんが転んだ」は日本の遊びの中にもありますが、日本とは違ったルールだったのでとてもおもしろかったです。またパルニーニさんは、バングラデシュの伝統的な踊りを教えてくれました。日本の踊りと少し似ていて楽しかったです。
- ・私は、他の国の文化に触れることが少なかったもので、とても新鮮に感じました。お話をするときも楽しくユーモアがあって、時間が短く感じました。大人になったらぜひ行ってみたいと思いました。
- ・2人の先生方がとても日本語が上手でびっくりしました。ぼくも外国に行ったら1ヶ月ぐらいで、その国の言葉が少ししゃべれるようになるのかなと思いました。
- ・バングラデシュは、食べ物を右手で食べることや、フランスではワインが有名なことなどいろいろなことを学ぶことができました。また、給食も一緒に食べてとても楽しい時間を過ごすことができました。

## 先生の感想

- ・地域の特徴から外国の文化などに触れる機会が少ないので、とても子どもたちには新鮮に映ったようです。積極的に質問をしたりゲームに没頭し

たりして、有意義な時間を過ごすことができました。また、「国際理解教育」という観点から、国々ごとに文化、風習、宗教の違いなどを理解することができたようです。今回は、事前にいろいろと調べた上での交流会だったので、子どもたちも生き生きと活動ができました。2人の巧みな「日本語」にも、子どもたちはびっくりしていました。外国の国が少し身近に感じられたことと思います。貴重な体験でした。

## 成果と課題

- ・この活動を通して、普段なかなか触れる機会のない外国の方々と接することができ、それぞれの国の文化や様子を学ぶことができました。今回の学習で、異文化理解の興味・関心を深めるきっかけをつくれたのがよかったですと思います。次は、日本古来の遊びや文化などを子どもたちの方から紹介するなどの工夫をしたいと考えています。
- ・今後も世界中のいろいろな国について、文化や生活習慣を正しく理解できる機会を設けていきたいと思います。そして、子どもたちが世界の人々と協力しあって共に生きていく力を育てていきたいと思います。

